



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 253
April
2014

トピックス

メンバー国との防災協力推進

↑ アジア防災会議2014 (ACDR2014) の開催

↑ 2013年度ADRC防災政策ピアレビュー

●メンバー国との防災協力推進

アジア防災会議2014 (ACDR2014) の開催

アジア防災センター (ADRC) は、2014年3月4日から6日の3日間、東京において、日本国政府及び国連国際防災戦略事務局 (UNISDR) の共催により、ACDR2014を開催しました。本会議は、2014年6月にタイで開催されるアジア防災閣僚会議 (AMCDRR) と、2015年3月に仙台で開催される第3回国連防災世界会議 (WCDRR2015) へ向けたアジア地域における次期行動枠組 (HFA2) についての最終協議の場となっていることから、ADRCのメンバー各国が取り組んできたHFAの進捗状況及び課題を抽出し、HFA2へ組み込まれるべき優先事項について、アジア地域からの提案について検討しました。会議には、メンバー国及びオブザーバー国から26か国、国連・国際機関、地域機関、研究機関、援助機関、関連機関から26機関、他、傍聴を合わせて、合計119名の防災専門家が会議に出席しました。

開会式では、内閣府 (防災担当) 西村康稔副大臣、ADRC伊藤滋センター長、UNISDR駐日事務所松岡由季代表により開会挨拶が行われました。西村副大臣からは、東日本大震災の経験と教訓を踏まえた日本の防災対策を世界と共有することの重要性、WCDRR2015と関連するHFA2に向けた本会議からのインプットへの期待が述べられました。

基調講演においては、独立行政法人水資源機構の西川智理事から、HFA2における日本の知見の共有と、WCDRR2015に向けた期待について説明がありました。また、東北大学の村尾修教授からは、都市型災害の歴史や特徴、東日本大震災からの教訓について報告がありました。

ACDR2014で取り上げられた各セッションの議題は以下の通りです。

1. 次期兵庫行動枠 (HFA2) に向けたHFAの進捗
2. ローカルレベルの防災対応能力強化
3. 防災分野における人材開発と訓練の取組み

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia



© ADRC 2014

続き

4. 防災分野における宇宙技術の利活用

1) 「次期兵庫行動枠(HFA2)に向けたHFAの進捗」セッションにおいては、アジア地域におけるHFAの進捗状況、優良事例や課題の分析に基づき、HFA2に向けた提案について議論が行われ、防災推進のための支援、多分野にわたる関係者の防災への関与、地方レベルでの取り組みの更なる支援・推進及び学校安全プログラムの重要性が指摘されました。



2) 「ローカルレベルの防災対応能力強化」セッションにおいては、防災分野におけるローカルレベルの活動の在り方に関する議論が行われ、予防から復興に至る全ての防災の局面で住民が関与すること、地域特性に合わせた防災活動を工夫すること、中小企業向けの事業継続計画(BCP)作成の推進が重要との指摘がありました。

3) 「防災分野における人材開発と訓練の取組み」セッションにおいては、国内外の事例紹介を通じて、人材が防災にとって最も重要な資源との観点から、人材育成プログラムのさらなる改善が必要なことが指摘されました。

4) 「防災分野における宇宙技術の利活用」セッションにおいては、当該分野における国際協力の成功事例としてのセンチネル・アジアの活動や、バングラデシュ等における活用事例の紹介を通じて、防災分野における宇宙技術の活用についてHFA2へ反映することが重要との意見が出されました。

会議の締めくくりとして、人材育成や宇宙技術の有効的な利活用など、各セッションから得られた成果が、HFA2の宣言が予定されているAMCDRRと、最終採択が見込まれるWCDRR2015に向けての提言として報告されました。さらに、ADRCがこれまで取り組んできた人材開発事業の促進、人的ネットワークの更なる構築、国と地方行政の連携強化など、メンバー国を中心に活動を充実させることで参加者から合意を得ることができました。最後に、内閣府四日市正俊参事官より閉会の辞が述べられ、ACDR2014は成功裡に幕を閉じました。会議に参加された発表者、参加者の皆様にはここに改めてお礼を申し上げます。なお、会議の詳細につきましては下記ウェブサイトをご覧ください。http://www.adrc.asia/acdr/2014_index_j.html

*本記事に記載した関係者の役職は2014年3月1日時点の情報です

2013年度 ADRC防災政策ピアレビュー

メンバー国の能力向上及びメンバー国間での情報共有・関係強化を目指し、ADRCは2009年度から防災政策ピアレビュー事業を実施しています。5年目となった本年度はアルメニアを対象国のひとつとし、同国からのカントリーレポートの提出後、評価チーム(ピアレビューアー)が現地に入り、聞き取り調査等を行いました。

今回のアルメニアにおけるレビューのテーマは養老院及び孤児院に対する地震対応力強化で、ADRC職員1名の他、神戸大学国際協力研究科の桜井愛子准教授、フィリピン火山・地震研究所のレナト・ソリダム所長がレビューアーとして参加しました。

評価チームは、防災に関する研究や事業などを行っている国家地震防災研究機構や養老院・孤児院を訪問し、各機関の取組みについて聞き取り調査を行うとともに、現場を視察することで、

続き

評価と提言に関する調査結果案をとりまとめました。また、日本、フィリピンにおける同施設等での取組みを紹介するワークショップを開催し、現地関係者と情報共有や協議を行いました。

本事業は、双方向での情報共有、学習を通じ、対象国のみならず評価チームに参加したメンバー国も学ぶことのできるプログラムを目指しています。今後は、評価チームが調査報告書をまとめ、対象国へ送付するとともに、ADRCメンバー国内でアルメニアからの最終事業報告書を共有する予定です。

最後に、本事業にご協力くださいました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。



問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。